

五日間の農場体験

東 紗椰

みなさん、農場へ行つたことはありますか。私は六月六日から十日までハーデクセンへ学校のクラス旅行で行きました。そこで農場の仕事をしました。ハーデクセンはドイツのニターガリセン州にある小さな町です。周りは山がたくさんあります。

農場の仕事は先生たちが振り分けます。私はブタと牛のグループになりました。ほかに

【海外子女教育振興財団】

は羊、にわとりなどのグループがありました。ブタは私の第一希望でした。かわいいし、めつたに世話をする機会がないからです。

牛小屋ではえさをあげたり、そうじをしました。りしました。夕方、牛にえさをあげていたら、農場の人がしぼりたての牛乳を飲ませてくれました。のうこうで冷たく、スーパードで買う牛乳より、はるかにおいしかったです。

生まれて一カ月ぐらいの牛もいました。みなはその牛を「フレッドピエン」と名付け

ました。

フレッドピエンは小屋をそうじする時、外に出してもらえます。その時、うれしそうに小屋から出てきてスキップやジャンプをしました。牛もそんなことができなんて知らないくて、おもしろかったです。

ブタ小屋では水をあげました。小屋の中はとておくさかかったです。ブタ小屋に干草を入れるため、小屋の中に私が入りました。するとすぐ私の長ぐつをかじったり、なめたりし

【海外子女教育振興財団】

ました。本当にかみくだかないかわかたです。けれど友達が、うきにしなりで、ふつうに歩けばソソのよと言ったのでその通りにしました。するとあまり寄つて来なくなりまし。どうしてブタがそんなに長ぐつが好きか不思議です。

毎日朝早く起きて、いそがしくてカガリる仕事をしてる農場の人たちはとてもすごいな、と思いました。なぜカガリるのかとソソと、牛のえさをシャベルで持ち上げて牛にあ

げたり、フォーク型の大型農具で干草を牛の
 ところに寄せたりするからです。私も毎日牛
 のえさをシヤベルですくいました。けれど重
 く、なかなか持ち上がりませんでした。
 それから小屋の二階に上がり、大きなバケ
 ツにえさをリッぱりまで入れました。そして
 そのバケツを農場の人が下ろしました。私な
 らバケツと一緒に階段から落ちてしまふと思
 うぐらい重かったです。女の人も力持ちです。
 私は毎日こんな仕事はできません。

【海外子女教育振興財団】

ことのできました。ホフホフしていて温かく
 て気持ち良かったです。

だ、こをするときキーキーと鳴くのでう
 るまかったです。それと同時に足をバタバタ
 動かすので落ちないかと心配でした。でもし
 ばらくすると静かになりました。と思ったら
 また鳴きだしてしまふこともありました。静
 かな子ブタとうるさく子ブタがいました。静
 かな子ブタはあまり鳴かなかつたので持ちや
 すかったです。

八日にブタの赤ちゃんが生まれました。十
 ぴきです。五ひきはきれいなピンクで、あ
 の五ひきはピンクに黒の水玉もようがついて
 いました。そしてその赤ちゃんをだっこする

【海外子女教育振興財団】

最後の日の朝、牛にえさをあげ終わった時、
 ブタと牛に別れのあいさつをしました。毎日
 えさをあげた牛、温かくてかわいいうぐたの赤
 ちゃんたちをもう二度と見られなくなると思
 うと悲しくなってきました。また会いたい、
 また子ブタをだっ。こしたいです。みんなは一
 頭一頭の牛にキスをしていました。そして、
 「まだ帰りたくないなあ。」
 と言っていていました。私もそう思いました。動
 物たちと別れたくなかったし、この仕事が出来

【海外子女教育振興財団】

しかつたからです。友達の一人はフレッツドビ
 エンを家に連れて帰りたいと言っていました。
 私はブタの赤ちゃんを連れて帰りたいか、ただ
 す。

この五日間の農場での仕事はなかなかでき
 なりけりけんだと思いました。また農場体験
 をしてみたりです。みなさんも農場体験をし
 てみてくださいます。